

2016年 文化財保存修復支援 カレンダー募金

今年も行います

ご協力ください

文化財保存修復支援活動!!



伴大納言絵巻 中巻-4の場面より

原本：出光美術館蔵 吉田 侑加 模写



ばんだいなごん

出光美術館所蔵国宝「伴大納言絵巻」の現状模写作品を題材とし、

上、中、下巻に分かれているこの物語は、いよいよ中巻に入り新たな場面展開となります。

模写制作の卓越した技術と壮大な歴史絵巻の世界をお楽しみください。

ご寄付を頂いた全ての方にカレンダーを

贈呈いたします。



公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団



2016年のカレンダーは出光美術館所蔵

ばんだいなごん

国宝「伴大納言絵巻」の4年目です。

「文化財保存修復支援カレンダー募金」は、寄付していただいた方々に、文化財を題材として製作したカレンダーを贈呈する募金キャンペーンです。貴重な文化財の保護活動への皆様のご支援をお願い申し上げます。



東京藝術大学日本画研究室による現状模写作品を題材とした2016年文化財保存修復支援カレンダー

文化財保存修復支援カレンダー募金

文化財は人類共通の財産です。古くから受け継がれてきた文化財は、経年による劣化や自然災害、人為的な破壊行為などで危機にさらされているものも少なくありません。こうした文化財を国や地域、民族、宗教などに関係なく保存修復して、次の世代に残していくというのが故平山郁夫画伯(当財団元理事長)の提唱した「文化財赤十字構想」です。

当財団では、これまで日本国内の文化財の修復はもちろん、中国・敦煌莫高窟、カンボジア・アンコールワット遺跡群、及びアフガニスタン・流出文化財の保護並びに在外日本古美術品保存修復などの支援を行ってきました。

当財団ではこうした文化財保護活動の一助とするため、カレンダーを製作し募金を行っています。カレンダーの題材は、国宝「源氏物語絵巻(徳川美術館所蔵)」の現状模写作品に引き続き2013年からは出光美術館のご協力を得て、国宝「伴大納言絵巻」の現状模写作品を題材としており、2016年のカレンダーで4年目になります。同絵巻には平安時代に起きた実際の事件をもとに制作された壮大な歴史ドラマが描かれております。上、中、下巻に分かれているこの物語は、いよいよ中巻に入り新たな場面転換となりますが、完結まで継続して取り上げて行く予定ですので、ご期待願いたいと思います。

なお、現状模写作品はいずれも東京藝術大学日本画研究室が制作したものです。オリジナル作品に優るとも劣らない模写制作の卓越した技術をご堪能いただくとともに、文化財保護の重要性をご理解いただければ幸いです。

国宝「伴大納言絵巻」

伴大納言絵巻は、平安時代における四大絵巻(源氏物語絵巻、伴大納言絵巻、信貴山縁起絵巻、鳥獣人物戯画絵巻)の一つに数えられている。

物語は、866年に内裏の枢要な門の一つである応天門が突然炎上した事件に始まり、やがて真相が解明され、事件は放火とわかり犯人逮捕へと向かってゆく。その過程を異時同図法という動画的な絵巻独特の手法によって、テンポよく表現した絵師の構想が劇的な演出の効果をあげている。

【お申込みの方法】

同封の払込取扱票に、郵便番号・住所・氏名・フリガナ・電話番号・金額・口数をご記入のうえ、郵便局で現金を添えてお申し込みください。(郵便局備え付けの青い振替用紙でも使用できます。その際は口座番号には00170-1-499266加入者名には(公財)文化財保護・芸術研究助成財団と通信欄には口数をご記入ください。)

ご寄付は1口2,500円以上をお願いいたします。複数口お申し込みの場合は、ご希望部数(2,500円につき1部)をお書きください。口数が記入されていない場合は1口とさせていただきます。年内発送分の締切は12月4日(金)、最終締め切りは12月17日(木)とさせていただきます。

※カレンダーの発送は12月中旬頃からとなります。

※カレンダーの数に限りがありますので、無くなり次第受付を締め切らせていただきます。

※ご提供いただいた個人情報は、カレンダー募金に関するもののみに利用させていただきます。

【お問い合わせ先】

(公財)文化財保護・芸術研究助成財団カレンダー係

電話:03-5685-2311

10:00～17:00(土、日、祭日及び12月26日～1月3日を除く)

【東日本大震災被災文化財救援・復旧募金】東日本大震災により被災した文化財の救援と復旧を支援するための募金も行っています。詳細は当財団HPをご覧ください。HPアドレス: <http://www.bunkazai.or.jp/>



公益財団法人 文化財保護・芸術研究助成財団